

## 貨幣制度の展望

最近の動向

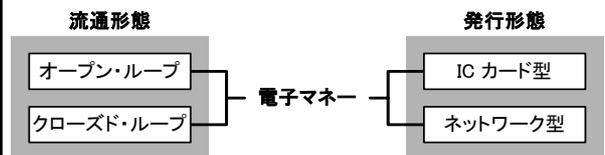
## 今回の目次

- ▶ 最近のトピックスの対立軸
- ▶ 電子マネー
- ▶ 地域通貨
- ▶ ゴールド
- ▶ ユーロ

## 対立軸は何か？

- グローバルvs.ローカル
- 投機vs.流通
- 国家vs.民間
- 信用vs.物

## 電子マネー



## 電子マネーは新しいか？

- 発行形態は新しいか？
  - そもそも企業間の大口取引では、すでに、紙幣ではなく、預金通貨による電子的決済が主流。
  - それを一般消費者のマイクロペイメント(小口支払)にまで拡張。
- 流通形態は新しいか？
  - クローズドループはただの預金振替指図。
  - オープンループは新しいが、預金振替と連動しているかぎりには、手形の裏書流通の匿名版のようなもの。

## 地域通貨

- 限られた地域の中で流通
- 特定目的を実現するために流通
  - エコマネー
  - ボランティア・相互扶助
- 機能を制限
  - 蓄蔵が無意味
  - 投機が無意味

## 地域通貨は救いの女神か？

- 地球規模での社会形成はどうなる？
- 結局、モノを通じた社会形成でしかないのでは？
- 資本主義というカネモウケのシステムを変えずに、投機や利子をなくすことなんてできるのか？

## ゴールド

- 金本位制＝固定相場制の復活
- 民間が発行する電子マネーの価値保存
  - e-goldなど
- 国家の政策に依存しない
  - インフレリスクを回避
  - “政府の失敗”を回避

## 野蛮への逆戻りではないのか？

- “市場の失敗”には対応できるのか？
- なんで金でなければ行けないのか？
- 全く無駄なコストではないか？
  - 運送・保管など総てにわたって高コスト

## ユーロ

- EU
  1. 経済統合
    1. 市場統合
      - 関税撤廃、移動の自由化など
    2. 通貨統合＝ユーロ
  2. 政治統合
- ユーロ
  - 最初は価値尺度のみ(単なる計算単位)
  - 今では通貨(流通手段・支払手段)

## ユーロはすでに基軸通貨か？

- EU加盟国どうしの取引ではもちろん主流
- 問題はEU加盟国と非加盟国との取引でユーロが使われるかどうか
  - 域外流通で使われるようになれば、世界中のどの国もユーロの準備高を増やさなければならない